

さいたま市長メッセージ（令和3年9月10日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

政府は、重症者数は依然として高い水準が続いているとして、緊急事態宣言を9月30日まで延長しました。

本市の感染状況は、減少傾向となっていますが、9月8日までの1週間で924名の新規陽性者が確認されており、依然として予断を許さない状況が続いています。

特に、新型コロナウイルス感染者の急増により、医療提供体制は逼迫しており、多くの方が自宅で療養されている状況です。

本市では、自宅で療養している方へ適切な健康観察等が継続できるよう、保健所の職員を大幅に増員して対応しています。また、感染者を専門で緊急搬送する特設救急隊を運用するなど、引き続き、自宅で療養している方が安心して療養生活を送れるよう取り組みを強化してまいります。

さて、感染収束の切り札として期待されている、ワクチン接種ですが、本市では、9月10日時点で、1回目を終えた方が約51%、2回目を終えた方が約40%となっています。

さらに、接種を加速するため、さいたまスーパーアリーナに続き、大宮高島屋と浦和コルソに集団接種会場を開設します。接種を希望する方は、ぜひご利用ください。

今後も、接種を加速化し、希望する方が1日でも早く接種できるように、全力で取り組んでまいります。

8月は、過去最大の感染拡大となりましたが、皆様のご協力により、ようやく新規陽性者が減少傾向に転じてまいりました。この減少を確実なも

のにするために、^ひ引き^{つづ}続き、^{わたし}私^{ひとり}たち一人ひとりが、^{つよ}強く^{いしき}意識をして、
^{きほんてき}基本的な^{かんせんよぼうさく}感染予防策の^{てってい}徹底^{つと}に努めてまいりましょう。